

# 教科(専門)スキルアップ研修

のご案内

いざ！センター夏の陣

スキルアップ講座は、多彩な講師陣による貴重な研修を通じて、指導の幅を広げることが目的です！

自分の校種、職種に関係なく、自由に研修を受講することができます。

例えば、今年の研修では、高等学校教諭教科スキルアップ「水産」は、小学校の先生でも生物についての知識を深められる内容となっております。

## ＜実施日＞

- ・小学校教諭教科スキルアップ 令和5年8月3日（木）
- ・中学校教諭教科スキルアップ 令和5年8月4日（金）
- ・高等学校教諭教科スキルアップ 令和5年8月7日（月）
- ※「高 保健体育」のみ8月3日（木）実施
- ・養護教諭専門スキルアップ 令和5年8月3日（木）
- ・栄養教諭専門スキルアップ 令和5年8月3日（木）

## 申込方法

○岩手教育情報交流ネットから申し込んでください。

※中堅研及びステージアップ研の対象者で受講を希望する方は、中堅研やステージアップ研の申込フォームから申込をお願いします。

○岩手教育情報交流ネットが利用できない場合は、「教職員研修の手引」の【研修様式1】に記入し、Faxでセンターに直接申し込んでください。

## 申込締切

○申込締切日は、4月11日（火）となります。

○希望者がいない講座は開講しません。

○申込の状況を確認し、追加で募集する場合があります。

○開講の有無及び追加募集の締切日については、4月末から5月上旬までに岩手教育情報交流ネットにてお知らせします。

## お問合せ

岩手県立総合教育センター

電話：0198-27-2833（企画担当）

Fax：0198-27-3562

## 【講座一覧】

※「研修者の声」がない講座は、R5講座内容を一新したものの。

実施期日	講座番号 講座名	主な講座内容等	募集人数
8月3日（木）	3111 小学校教諭教科スキルアップ	<p>社会・理科・生活・図画工作・音楽・家庭・体育の中から、午前と午後でそれぞれ1教科（理科については領域別であるため、午前・午後の連続受講可）を選択し受講します。学習指導要領を踏まえた授業づくりのポイントを、演習を交えながら理解を深めていきます。</p> <p><b>【研修者の声】</b> 「図工の講義で図工は『ものづくり』が目的の教科ではなく、『ものづくり』を通して資質能力を育てることが目的であるという言葉にハッとさせられた。」 「自分が特に困難さを感じていた『音楽』の研修が有意義だった。感性によるところが大きいと感じていたが、そこを言語化し共有するための方法や、その見取り方等、常にためになった。」</p>	180名
	3481 養護教諭専門スキルアップ	<p>弘前大学大学院の小林央美先生を講師としてお招きし、多様化・複雑化する児童生徒が抱える様々な健康課題に対して、養護教諭がその職や職務の特質を生かしながらどのように支援を行えばよいのかについて学びます。健康相談活動の理論や方法、連携の在り方等について演習を交えながら理解を深めます。</p> <p><b>【研修者の声】</b> 「健康相談活動における情報収集の視点とその解釈の仕方について、自分が陥りがちな癖を捉えることができた。」 「養護教諭の職務の特質を生かすために、様々な考え方や技法を学ぶことができた。」</p>	25名
	3482 栄養教諭専門スキルアップ	<p>学校給食における食物アレルギーへの対応食や保護者との連携について学びます。また、スポーツをする児童生徒の栄養管理や、栄養教諭による個別相談の流れと面談の方法などについて、演習を交えながら学びます。</p> <p><b>【研修者の声】</b> 「児童生徒の心情等に合わせたアレルギー対応、個別指導を進めていく重要性を学んだ。」 「スポーツ栄養や肥満指導のアセスメントをつくる機会がなかったので、今回学んだことを生かして、年間計画を立てるところから実践していきたい。」</p>	15名
	3137 高校保健・体育	<p>東海大学の太越正大先生と岩手大学の清水将先生を講師としてお招きし、様々な演習を取り入れた研修を行います。スポーツの価値観を育む体育理論や体づくり運動の授業づくり、保健教育の単元構想など、今後の指導に役立つ内容が満載の講座です。</p> <p><b>【研修者の声】</b> 「実際に生徒に教えたい、学んでほしい具体的な内容を研修でき、有意義だった。」 「幅広い視点から解説していただき、総合的な見方を学ぶことができた。」</p>	20名
8月4日（金）	3127 中学校国語	<p>中学校学習指導要領解説「国語編」の執筆者でもある宮城教育大学の児玉忠先生を講師としてお招きし、国語科の授業改善や教材研究の在り方について学びます。また、本講座は、書写指導のポイントについて実技を通して学ぶことができる貴重な講座です。</p> <p><b>【研修者の声】</b> 「どのような発問をすると学びが深まるのか、教材を例に挙げながら具体的に教えていただき、非常に勉強になった。」 「書写の演習では、筆に墨をつける正しいやり方や工夫した手本の作り方を学ぶことができ、とても参考になった。」</p>	20名
	3127 中学校社会	<p>社会的な見方・考え方を働かせる授業と評価の在り方について、学習指導要領の作成に関わった小栗英樹先生を講師としてお招きします。この他に国や県の教育施策についての理解を深めながらICT活用の在り方についての演習も行います。生徒が主役となり輝ける授業をデザインするための内容が多く学べる講座です。</p> <p><b>【研修者の声】</b> 「1日をおして社会的な見方・考え方、その視点を大切にしたい問い、授業づくりについて考えることができた。生徒がいかに課題（疑問）をもち、主体的に学習に向かうことが大切なのかを実感することができた。」 「社会科に対して苦手意識があるので、講義内容が理解できるか不安だったが、その不安をはね飛ばすほど面白かった。（特別支援学校教諭）」</p>	20名

8月4日(金)	3127 中学校数学	<p>岩手大学から二人の先生をお招きします。中村好則先生からは、数学の授業における効果的なICT活用について教えていただきます。実際にタブレットを操作しながら学ぶことができます。立花正男先生からは、数学的活動に焦点を当てた授業改善について講義をいただきます。どちらもすぐに授業に取り入れたい内容です。また、指導と評価の一体化に向けた学習評価の在り方について、評価問題を示しながら学んでいきます。</p> <p><b>【研修者の声】</b>  「効果的なICT活用の研修が良かった。実際にどのように使うかがわかり、2学期の授業で使いたいと思った。」  「自分の授業を振り返る機会となった研修でした。発展的に考えさせるときの問いかけや学びを広げていくための展開など、今後の授業において考えていきたいと思いました。」</p>	20名
	3127 中学校理科	<p>講義では、全国学力・学習状況調査結果に基づいた授業改善について研修します。講義と実習では、①エネルギー(電流と磁界、放射線)と②生命(DNA簡易抽出、煮干しの解剖)のどちらかを選択、③粒子(化学変化、酸化・還元)と④地球(火山立体モデル、筋状雲)のどちらかを選択し、観察・実験の指導について研修します。</p> <p><b>【研修者の声】</b>  「どの講義も有意義であった。明確な目的意識をもって参加することができた。」  「普段感じていた疑問や分からなかった事を聞くことができた。今後の教育活動では、評価、霧箱実験、DNA抽出実験等を実践したい。」</p>	20名
	3127 中学校音楽	<p>学習指導要領の趣旨を踏まえた日々の授業の進め方や評価規準の作成方法、ICTの活用方法などを演習します。講義や演習を通して、様々な授業づくりのヒントが得られる講座です。</p> <p><b>【研修者の声】</b>  「目標や評価規準などを学ぶことができた。」  「研修の資料なども今後の参考にしながら、授業改善に取り組んでいきたい。」</p>	20名
	3127 中学校美術	<p>学習指導要領の趣旨を踏まえた美術科の授業改善について、題材設定や授業づくりの視点から理解を深める講座です。資質・能力の育成のためのA表現における指導と評価の具体について、講義と演習を通して学びます。</p>	20名
	3127 中学校保健体育	<p>東海大学の太越正大先生を講師としてお招きし、豊かなスポーツライフを実現する「体育理論」と「体づくり運動」について学びます。午前中は体育理論を学ぶ意義や生徒に考えさせたい“スポーツの本質”について理解を深め、午後は演習を交えて、「体づくり運動」について授業に役立つ内容を学びます。</p> <p><b>【研修者の声】</b>  「改めて、体育理論の大切さを学ぶ機会となりました。」  「生徒たちの興味関心を大切にしながら、生徒自身が目標を設定し、体づくりに取り組むことができる授業のヒントをいただきました。」</p>	20名
	3127 中学校技術	<p>「技術分野の指導上の課題とこれからの指導の在り方」では、指導内容のポイントや、指導計画と評価について学びます。  また、技術分野で扱う情報教育の在り方と今後の技術分野の指導及び高等学校共通教科情報科のプログラミングの基本について、岩手大学の宮川洋一先生、早坂良先生をお招きして講義をいただきます。</p>	10名
	3127 中学校家庭	<p>評価計画や評価例を検討したり、ICTを活用した学習指導の事例を学んだりすることを通して、資質・能力の育成を目指した指導と評価の一体化や家庭分野のよりよい指導を考えます。また、生徒が実践的・体験的な活動を行うことを通して、科学的な視点から理解を深めていく衣生活の授業づくりを学びます。</p> <p><b>【研修者の声】</b>  「学習評価の進め方は、演習を交えて行い、自分が学校に戻って活用できると考えています。」  「講義と演習では、実験を実際に行うことが、科学的な見せ方や実感を伴った授業づくりにとても有意義であると感じました。」</p>	10名

8月4日（金）	3127 中学校英語	<p>文教大学の阿野幸一先生を講師としてお招きし、今求められている授業の在り方について学び、授業スキルの向上を目指します。また、指導と評価の一体化を図るためのポイントについても理解を深めることができる講座です。</p> <p><b>【研修者の声】</b> 「学習指導要領が新しくなり、授業改善が求められ、自分にとって必要な研修であり、大変有意義に感じた。」 「中堅教諭としての姿について、改めて考える機会となった。」</p>	20名
---------	---------------	--	-----

実施期日	講座番号 講座名	主な講座内容等	募集人数
8月7日(月)	3137 高校国語	筑波大学の島田康行先生を講師としてお招きし、学習指導要領の趣旨を踏まえた授業改善について、講義や演習を行います。単元の目標、評価規準、言語活動、評価問題等の考え方、教材開発の方法について学びます。特に、「書くこと」の領域について、理解を深めます。授業づくりのヒントを得られる講座です。	25名
	3137 高校地歴・公民	<p>地理歴史・公民科において、今求められている、これからもつべき視点について学べる講座です。東京学芸大学の佐々木幸寿先生を講師としてお招きし、教科指導に関する最新の知識や理論についての講義を行います。また、県内の教諭による優れた実践例を通して、指導と評価の一体化の実現について、理解を深めます。</p> <p><b>【研修者の声】</b>  「教科によって知識の性質が異なり、教科ごとの学びがあること。それを踏まえて、地理・歴史・公民でどのような授業をしていけばいいのか考えるきっかけになった。」  「授業を通してコンピテンシーを育むという考え方が大変参考になりました。単に知識を習得させるだけでは当然なく、卒業後の生徒たちが、興味を持って地理的・歴史的・公民的事象に対峙できるようにするための力を養うことの必要性を改めて感じた。」</p>	20名
	3137 高校数学	学習指導要領改訂の趣旨を踏まえた授業改善を目的とした講義や演習を行います。これからの目指すべき高校数学の授業の在り方やそれに向けた授業改善のポイントを掴むことができます。また、岩手大学教育学部の川田浩一先生を講師としてお招きし、数学的活動の一層の充実に向けて、数学の専門的な演習を行う予定です。	20名
	3137 高校理科	<p>生徒の学習の成果を的確に捉え、主体的・対話的で深い学びの実現の視点から授業改善を図る「指導と評価の一体化」について学びます。また、物理、化学、生物、地学から1科目を選択し、授業改善を図るための指導の手立てについて学び、観察、実験のスキルアップを目指します。※地学では巡検を行います。</p> <p><b>【研修者の声】</b>  「令和4年度から新学習指導要領になったが、分野ごとに細かく授業のネタになることを提供していただき大変ありがたかった。」  「実験にも実物にも触れることができ、さらに、一緒に研修した先生方との交流を通して多くのヒントも得ることができ、とても有意義な研修だった。」</p>	各科目6名
	3137 高校音楽	<p>授業実践や研究などを全国に発信している島田聡先生を講師としてお招きし、学習指導要領の趣旨や、それを踏まえた授業について、具体的に指導していただきます。小学校、中学校の先生方も受講できます。</p> <p><b>【研修者の声】</b>  「ICTの活用方法など大変参考になった。」  「評価など、知りたいことを深く知ることができた。」</p>	20名
	3137 高校英語	小学校、中学校、高等学校の系統性を意識した指導と評価についての講義や演習を行います。学力に関する各種調査結果や優れた授業実践例の紹介を通して授業改善について考えていきます。また、授業づくりや学習評価については、演習を中心に行います。互いの情報共有や交流を通して、さらなる授業のスキルアップを目指す講座です。	20名
	3137 高校家庭	<p>「学習指導要領を踏まえた指導と評価」や「ホームプロジェクトと家庭クラブ活動の指導」について理解を深めます。また、家庭科の学習におけるICT活用や生徒が主体的に学ぶ「C 消費生活・環境」の授業づくりについて、講義と演習を行います。理論と実践の両面から学び、スキルアップを目指す講座です。</p> <p><b>【研修者の声】</b>  「評価については、よく分からない点もあったので、今回の研修を活かして、次年度のシラバスを作成したいと思います。」  「ホームプロジェクトの実践例とお悩みを聞くことができよかったです。」</p>	10名
	3137 高校農業	農業大学校を会場に、農業大学校の先生から、岩手県がどのような農業政策をしているのか、農業従事者に対して普及している新技術を学びます。また、課題研究をテーマに、農業教科における探究活動について学びます。	10名

8月7日（金）	3137 高校工業	<p>生徒の学習成果を的確に捉え、主体的・対話的で深い学びの実現の視点から授業改善を図る「指導と評価の一体化」について理解を深めます。また、3D-CAD（SolidWorks操作実習）、機械保全技能検定（電気系保全作業）からいずれかを選択し、演習（実技）を行います。</p> <p><b>【研修者の声】</b>  「3D-CADでは基本から応用まで丁寧に教えて頂いたので、今後の実習や課題研究の指導に生かしていきたいと思います。」  「今日初めて3D-CADを操作することができた。最初は難しかったが、徐々に操作に慣れていくことができた。3D-CADは出来る事も幅広いため、今回の研修に満足せず、勤務先でも練習を重ねていきたい。」</p>	15名
	3137 高校商業	<p>実践的商業教育への取組について理解を深めます。また、ビジネス情報分野における学習指導要領の変更点を踏まえた授業内容の検討、ビジネス情報分野における情報活用能力の育成、3つの柱に沿った具体的な評価方法の演習を行います。</p>	20名
	3137 高校水産	<p>水産技術センターを会場とし、水産における最先端技術の理解のため、研修者が選択した4つのコース（海洋観測データ分析、ワカメ・コンブの塩分測定、ウニの年齢査定、貝毒濃縮種判別）に分かれて演習や実習を行います。また、水産の高等学校関係者からは、水産教育に関する内容を、大学の先生からは近年のサクラマス養殖試験に関する地域創生への取り組みについて学びます。</p> <p><b>【研修者の声】</b>  「ワカメの生活史ならびに生産方法について詳細に学びなおすことができた。海藻生産を得意とする本県で、食用以外の利用のあり方を考えようとするモチベーションを向上させることができた。」</p>	10名